

宮崎県文化財調査報告書

第 38 集

平成7年3月

宮崎県教育委員会

宮崎県文化財調査報告書

第 38 集

平成7年3月

宮崎県教育委員会

序

埋蔵文化財の保護・活用につきましては、日頃より深い御理解をいただき、厚くお礼申し上げます。

宮崎県教育委員会においては、文化財の保護及び文化財指定のための調査や、土木工事等の諸開発事業に伴う遺跡の緊急発掘調査の報告を刊行し、文化財に対する理解をいただいているところであります。

この度は、平成4・5年度調査の古城第3遺跡、平成4年度調査の、馬場第1遺跡、昭和61年度調査の小町遺跡の発掘調査について収録しております。

本書が、社会教育・学校教育の場において広く活用され、あわせて学術研究上の資料として役立つことを期待いたします。

尚、調査に際してご協力いただいた地元の方々、及び市町村教育委員会の方々に深甚の謝意を表します。

平成7年3月

宮崎県教育委員会

教育長 田 原 直 廣

例　　言

- この報告書は、宮崎県教育委員会が主体となって実施した埋蔵文化財発掘調査の成果を収録したものである。
- 掲載している遺跡名・所在地・調査期間・執筆者は下記のとおりである。
- 本報告書の編集は、宮崎県教育庁文化課が行った。
- 古城第3遺跡・馬場第1遺跡の名称については、発掘調査の通知時に、平成4年度調査分を「馬場・古城遺跡」として一括して扱い、平成5年度分は「馬場第2遺跡」を用いたが、報告するにあたり遺跡の位置等を再検討し、前者は2遺跡に分けて後者は「古城第3遺跡」に変更した。

記

遺跡名	所在地	調査期間	調査担当	執筆者
古城第3遺跡	佐土原町	平成4年11月26日 ～4年12月27日	吉本正典	吉本正典
		平成5年4月27日 ～5年5月20日	戸高眞知子	戸高眞知子
馬場第1遺跡	佐土原町	平成5年1月5日 ～5年1月22日	吉本正典	吉本正典
小町遺跡	佐土原町	昭和61年7月3日 ～61年7月25日	面高哲郎	面高哲郎

総　　目　　次

- 古城第3遺跡・馬場第1遺跡の調査 1
- 小町遺跡の調査 1

1. 古城第3遺跡・馬場第1遺跡の調査

本文目次

第I章 はじめに	1
第1節 調査に至る経緯	1
第2節 遺跡の位置と環境	1
第II章 古城第3遺跡の調査	1
第1節 調査の概要	2
第2節 出土遺物	2
第III章 馬場第1遺跡の調査	1
第1節 調査の概要	4
第2節 出土遺物	4
第IV章 まとめ	1

挿図目次

第1図 遺跡の位置と周辺の遺跡	1
第2図 古城第3遺跡 地形図及び調査区配置図	2
第3図 古城第3遺跡 出土遺物実測図	3
第4図 馬場第1遺跡 地形図	5
第5図 馬場第1遺跡 出土遺物実測図	5

図版目次

図版 1 古城第3遺跡	7
図版 2 古城第3遺跡	8
図版 3 馬場第1遺跡	9
図版 4 古城第3遺跡・馬場第1遺跡 遺物	10

2. 小町遺跡の調査

本文目次

1. 遺跡の位置	11
2. 調査に至る経緯	12
3. 調査の概要	12
4. 遺構と遺物	14
5. まとめ	16

挿図目次

第1図 遺跡の位置	11
第2図 発掘調査地	12
第3図 遺構分布図	13
第4図 溝状遺構上層図及び上墳3・4実測図	14
第5図 山土遺物実測図	15

図版目次

図版1 小町遺跡調査状況	17
図版2 小町遺跡調査状況	18
付1. 平成5年度埋蔵文化財発掘調査一覧	19
付2. 平成5年度宮崎県市町村教育委員会 発行埋蔵文化財調査報告書一覧	26

古城第3遺跡

馬場第1遺跡

鹿児島県道宮本・新町線道路改良事業

発掘調査報告書

例　　言

1. 本報告は、県道宮本・新町線道路改良事業に伴い
県教育委員会が実施した古城第3遺跡及び馬場第1
遺跡の発掘調査報告書である。
2. 古城第3遺跡の発掘調査は平成4年11月26日から
平成4年12月27日にかけて県教育庁文化課主事吉本
正典が、平成5年4月27日から平成5年5月20日に
かけて同主事戸高眞知子がそれぞれ担当して実施し
た。
- また、馬場第1遺跡の発掘調査は平成5年1月5
日から平成5年1月22日にかけて吉本の担当で実施
した。
3. 本報告の執筆は、第II章の第2節と第III章を吉本
が、他を戸高が担当し、編集は吉本が行った。
4. 出土遺物は、県総合博物館埋蔵文化財センターに
保管している。

第Ⅰ章 はじめに

第1節 調査に至る経緯

佐土原町宮本の国道10号線から西に分岐し、一つ瀬橋を経て新富町に至る県道宮本・新町線は、かねてより宮崎土木事務所によって道路改良事業が実施されてきたが、計画路線内およびその南側には佐土原町遺跡詳細分布調査で確認されている遺跡が散在し、平成4年度工事予定地が遺跡の周辺部に当たることから、県文化課は宮崎土木事務所と協議の上、平成4年11月26日から12月27日までと平成5年4月27日から5月20日まで古城第3遺跡の調査を、平成5年1月5日から1月22日まで馬場第1遺跡の調査を実施した。

第2節 遺跡の位置と環境（第1図）

古城第3・馬場第1遺跡は、宮崎県宮崎郡佐土原町大字上田島字古城・馬場に所在し、一つ瀬川右岸の最も新しい河岸段丘「下田島面」の北縁部に位置する。この段丘の北西部は標高5m前後の微高地で旧佐土原藩の市街地が形成されているが、古城・馬場地区では開析によって狭小に分断されて北に低い緩傾斜地になっており、弥生時代から中世にかけての遺物散布地が確認されている。また、南方および南西側には段丘が侵食されてできた標高40~80mの丘陵群があり、近年佐土原町によって調査された下村古窯跡群など弥生時代から近世に至る遺跡が数多く散在している。古城第3遺跡の西約0.5kmの丘陵北端の高地には、中世に建立された大光寺がある。



第1図 遺跡の位置と周辺の遺跡 (1/25,000)

1. 古城第3遺跡 2. 馬場第1遺跡 3. 下村古窯跡群 4. 大光寺
5. 佐土原城址 ○ 遺物散布地 ▲ 横穴古墳群

第Ⅱ章 古城第3遺跡の調査

第1節 調査の概要（第2図）

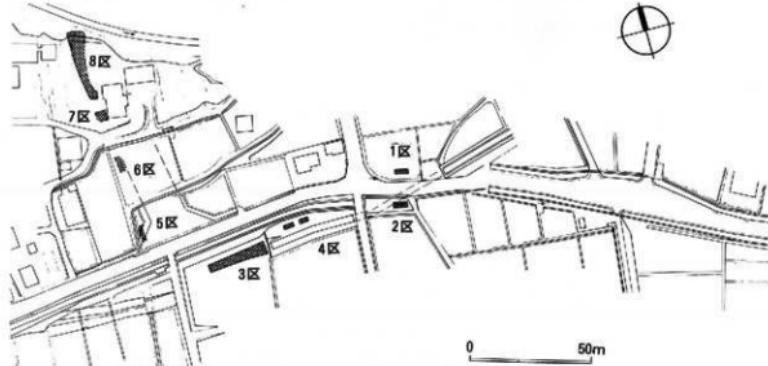
古城第3遺跡は、平成4年度と同5年度に調査を実施した。

平成4年度は、東西に伸びる道路の南北の拡幅部分と、一つ瀬橋に向かって北へ延びる新設道路予定地のうち低位の水田部分について発掘調査を実施し、拡幅部分に1～4区、新設部分に5・6区の調査区を設定した。拡幅部分の基本層序は、I層（現表土・客土）、II層（灰褐色～灰白色を呈する旧水田耕作土で、中・近世の遺物を含む）、III層（灰黒色砂層。うすい）、IV層（青灰色シルト。鉄分含浸。旧水田耕作土か）、V層（灰黒色粘土。基盤層。木片などの自然遺物を含む）となる。調査の結果、古墳時代から近世に至る遺物が出土したが、本来存在したと考えられる主たる遺物包含層は残存しておらず、遺構も検出されなかった。

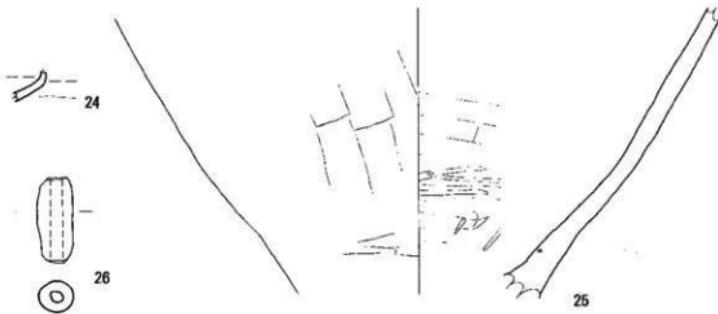
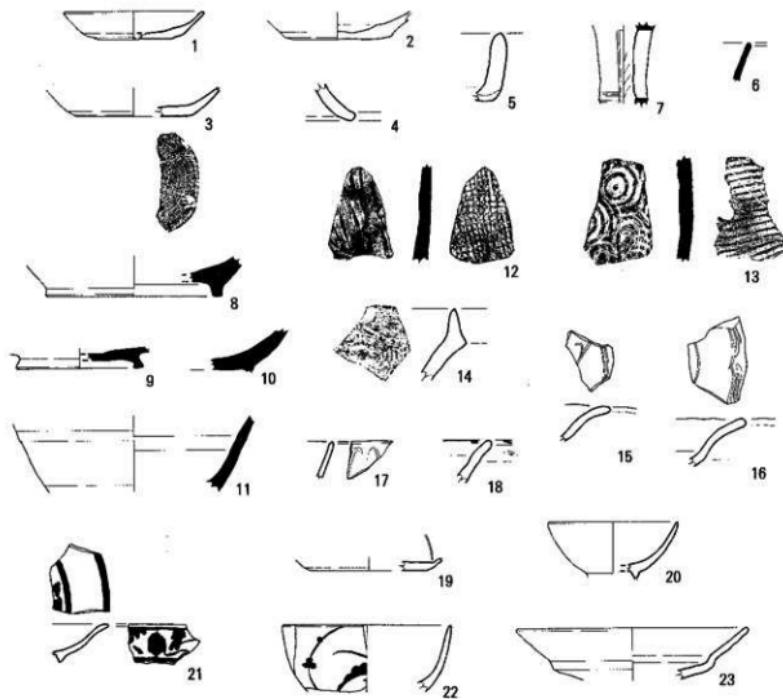
平成5年度は、さきの道路新設予定地を調査対象地とした。このうち、段丘の原地形に近く、遺跡本体がよく残っていると予想される部分について発掘調査を実施することにしたが、表土の除去後、東半部に搅乱や埋め立ての状況が確認されたので、西部の地山の残存のよい箇所を選んで調査区7・8区を設定した。また、4年度の調査で遺物が出土した5・6区のある南側水田および北側の低地沖積層上の水田についても遺構・遺物が存在する可能性があるので、調査期間中、掘削面や排土の観察を怠らないよう留意した。

調査の結果、表土直下のシルト層面で時期不明の柱穴が3基検出されたが深さは15～30cmと浅く、予想に反して遺跡がかなり削平されていることが判明した。調査区北端の段丘縁辺にあたる斜面では、随所にトレンチを設定して土層の堆積状況を観察し、過去の地山の崩壊、土砂の自然堆積、近年の削平・整地時の客土の堆積が確認された。遺物は、柱穴内より数点の土器小片が出土した他、斜面堆積土中から弥生時代～近世の土器片・陶磁器片約300点が出土したが、磨耗しているものや細片が多く、次節に掲載すべきものは少なかった。

また、水田部分については南側で須恵器片1点を採拾した他は特筆すべき状況はなかった。



第2図 古城第3遺跡 地形図および調査区配置図



0 10cm

第3図 古城第3遺跡出土遺物実測図 (1/3)

第2節 出土遺物（第3図）

遺物については、前述の通り明確な包含層が認められず、また平面位置も原位置を止めてい
るとは考えられないため、細かな出土位置や層の明示は、必要と考えられるものを除き、行わ
ないこととする。

1～3は土師器の杯である。1は7区出土で底部へラ切り。やや淡い橙色を呈し、胎土は精
良。2は8区出土。小片のため不鮮明だが、底部は糸切りと見られる。3も8区出土。底部は
糸切り。2・3とも橙色を呈し、胎土中に赤色粒・光沢粒を含む。4は高杯か台付鉢の脚と見
られる。黄白色を呈し、胎土中に赤色粒を含む。内面は調整が粗い。5は8区出土の土師質の
盤あるいは、焙烙で、外面下半には火熱を受けた痕跡が残る。胎土中に赤色粒を含む。

6～13は須恵器である。6は2方向のすかし窓を有する。おそらく長脚の高杯脚部であろう。
下部に凹線を巡らせる。3区のII層のゆるやかな落ち込み部分より出土。他の遺物と比べて時
期的に遡るようである。7は8区出土の杯身である。外・内面とも回転ヨコナデ痕が残る。8
～10は高台付きの杯身である。8・9は7区、10・11は8区出土。8は焼きがやや甘く軟質で
ある。11・12は甕の胴部片で、外面に格子目タタキ、平行タタキの痕跡、内面には同心円文、
円弧文が認められる。11は8区出土。

14は客土出土のすり鉢で、淡い赤褐色を呈する。内面に部分的に櫛目が認められる。

15～17は青磁である。15・16は稜花皿。15は客土、16は1区出土。17は楕で、外面に蓮弁文を
施す。

18は1区出土の緑灰色を呈する磁器で、口唇部の内側や外面の一部に鉄釉で文様を描いてい
る。唐津焼の四方皿と考えられる。

19・20は白磁である。19は平底の皿で、全面に淡い青灰色の釉をかけている。1区出土。20
は小楕で、体部下部から底部にかけては露胎となる。7区出土。

21は中国産の染付皿。見込みに界線を巡らせ、その内側に文様を描いている。

22は6区出土の国産の染付楕。外面に梅花文を描いている。

23は国産陶器であろうが、産地等は判然としない。やや褐色味を帯びた灰白色を呈し、器面
には細かい凹凸が見られる。

24は国産磁器の楕で、体部下部は露胎となる。6区出土。

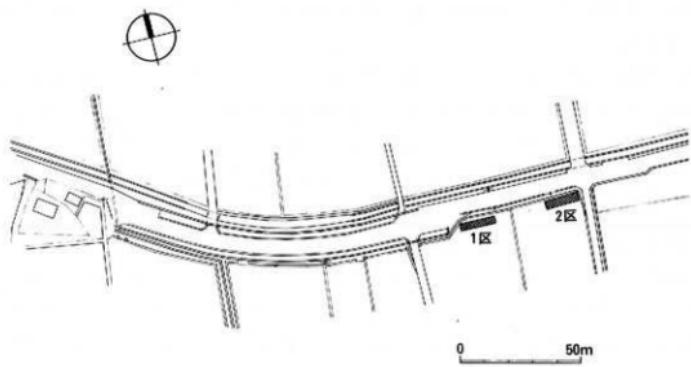
25は国産陶器の甕の胴下部。外・内面とも、粗い工具による調整痕が残る。

26は11区出土の土鍤。重量は20.5g。

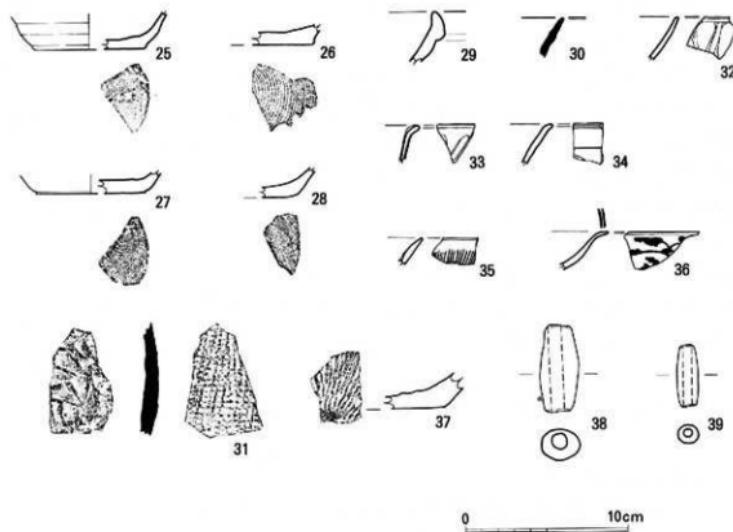
第三章 馬場第1遺跡の調査

第1節 調査の概要（第4図）

本遺跡は古城第3遺跡の東約0.8kmの位置に所在する。遺跡地の現況は水田であり、調査対象
地内に2カ所の調査区（1区・2区）を設定した。ただし、1区の方は湧水のため途中で掘り
下げを断念している。



第4図 馬場第1遺跡地形図



第5図 馬場第1遺跡 出土遺物実測図 (1/3)

遺物は、Ⅱ層とした旧水田耕作土から出土しているが、その数は多くはなく、またローリングを受けた小片がほとんどである。これは古城第3遺跡と同様、二次的に他所より流れ込んだか、本来の遺物包含層が破壊された結果と考えられる。

尚、基盤層は古城第3遺跡の状況を参考にすると、灰黒色の粘土になると推測されるが、確認はしていない。

第2節 出土遺物（第5図）

25~28は土師器の杯・皿である。全て底部は糸切り。胎土中に赤色粒を含む。25は2区出土。赤みがかった橙色を呈する。底部からわずかに膨らんで立ち上がる器形となる。26は2区出土。淡い褐色を呈する。焼成は良好で堅緻である。27も2区出土のもので、橙色を呈する。25と同じく体部が膨らむものであろう。底面と体部の境に凹みが見られる点も共通する特徴である。28は暗い褐色を呈する。これも2区出土。

29は磨滅のためはっきりしないが、こね鉢と考えられる。口縁部が玉縁状に肥厚している。淡い褐色～黒褐色を呈する。2区出土。

30は直線的に開く須恵器の杯身の口縁部と見られる。外・内面の全面に回転ヨコナデの痕跡が残る。2区出土。31は格子目タタキの須恵器の甕胴部。2区出土である。

32・33は青磁碗。ともに外面に蓮弁文を描いている。35も青磁の皿と考えられるが、詳細は不明。

34は白磁の碗。外面に1条沈線を巡らせている。

36は中国産の染付皿。外面に唐草文を、口縁部内面に界線を巡らせる。

37はすり鉢の底部。櫛目は深く、シャープである。32~36は全て2区出土。

38・39は十鍊。重量はそれぞれ22.5g、4.9g。

第IV章 まとめ

古城第3遺跡・馬場第1遺跡の調査により、弥生時代から近世までの遺物が出土したことから、この地が永く往時の人々の生活圏内にあったことが確認された。

しかし、今回の調査では、後世の削平のため、その生活の実態を知るべき遺物包含層や明確な遺構は検出されなかった。両遺跡が段丘の最縁辺にあたることや遺物の内容と磨耗の状況を考えると、遺跡の本体は南側段丘上に位置し、弥生時代から古墳時代までは居住地、それ以降は生産に関わる作業場的なものがあったが、近世以降の水田の開墾によってかなり削平を受けた、と想像できる。分断された段丘間に入り込む低地沖積層は、中世以前に、あるいは弥生時代から、すでに水田として利用されていた可能性もある。

図版 1



古城第3遺跡 全景（上空から）



馬場第1遺跡 全景（上空から）

図版 2



3・4区近景（東から）



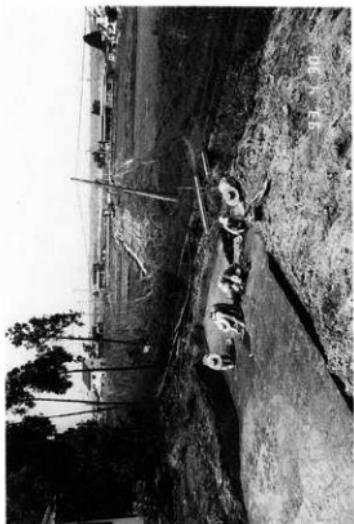
4区の状況（西から）



古城第3遺跡 3区西面



3区東半の状況（西から）



8区北半調査状況（南東から）



馬場第1遺跡 1区調査状況（西から）

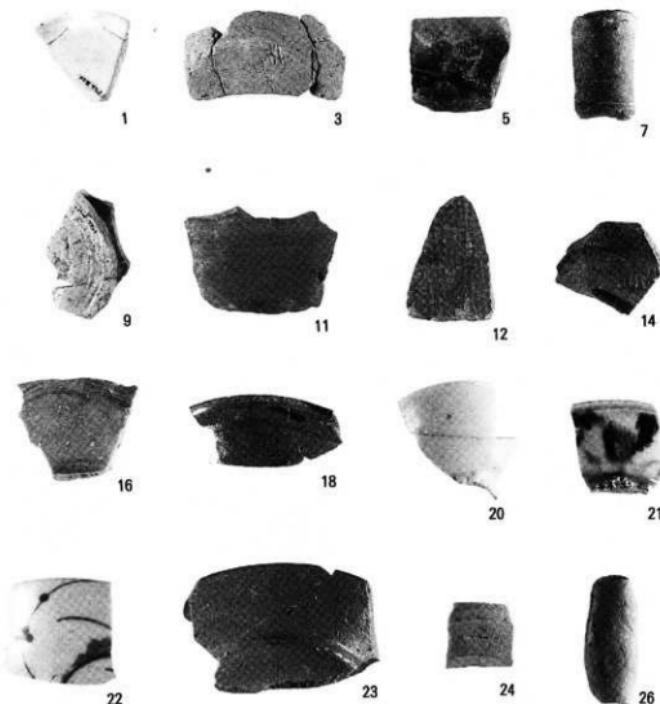


7・8区近景（北から）

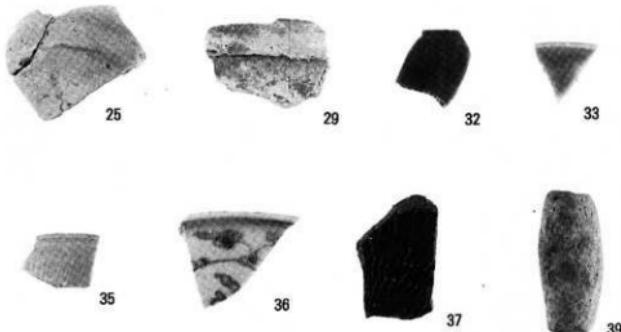


8区の状況（北から）

図版 4



古城第3遺跡 遺物



馬場第1遺跡 遺物

小町遺跡

例　　言

- 1 本報告は、2級河川石崎川の河川改修工事に伴い、宮崎県教育委員会が実施した小町遺跡（宮崎郡佐土原町大字東上那珂字小町）の発掘調査報告書である。
- 2 発掘調査は、昭和61年7月3日から7月26日までの間文化課面高哲郎の担当で実施した。
- 3 本報告の執筆・編集は面高哲郎が行った。
- 4 出土遺物等は、宮崎県総合博物館埋蔵文化財センターで保管している。

小町遺跡の調査

1 遺跡の位置（第1図）

佐土原町南西部の船野台地（標高80～90m）・年居台地（標高80～90m）・佐土原丘陵（標高60～70m、80～90m）にかこまれた一帯には、標高20m前後の那珂低地がある。低地の中央部には石崎川が蛇行しながら東流し、流域沿いには沖積地が発達している。石崎川は、蛇行しながら東流しているため、流域沿いに舌状張出し部がいく筋も見られる。

小町遺跡は、石崎川とその支流である大町川が合流する所の舌状張出し部に立地する。遺跡の立地する舌状張出し部の縁辺にあたる流域沿いは1mほどの低くなっている。

現在まで小町遺跡周辺で確認されている遺跡について見ると、縄文時代の遺跡は、下講中第1・2遺跡、井上第1遺跡など台地や丘陵上の平坦部に多くは立地している。弥生時代以降の遺跡は、台地上にも所在するほか丘陵裾の緩斜面、那珂低地の微高地や砂丘上で多く確認されている。小町周辺で低地に立地する弥生時代の遺跡は、保木下遺跡やその南の微高地上に鳥之内遺跡、南東に舌状に張出す微高地上には櫛第2遺跡があり、古墳時代の遺跡は丘陵裾の緩斜面上に西ノ城遺跡等がある。墳墓については、台地上や砂丘上に古墳が所在しているが、台地



第1図 遺跡の位置

や丘陵の斜面では多く横穴墓群が確認されており、一帯は県内では横穴墓群の密集地として知られている。奈良～平安時代の遺跡は成枝権現遺跡の1カ所であるが、周辺に未発見の遺跡が多く存在するものと予想される。小町遺跡南の広原では完形の玉縁口縁の白磁碗が採集されている。

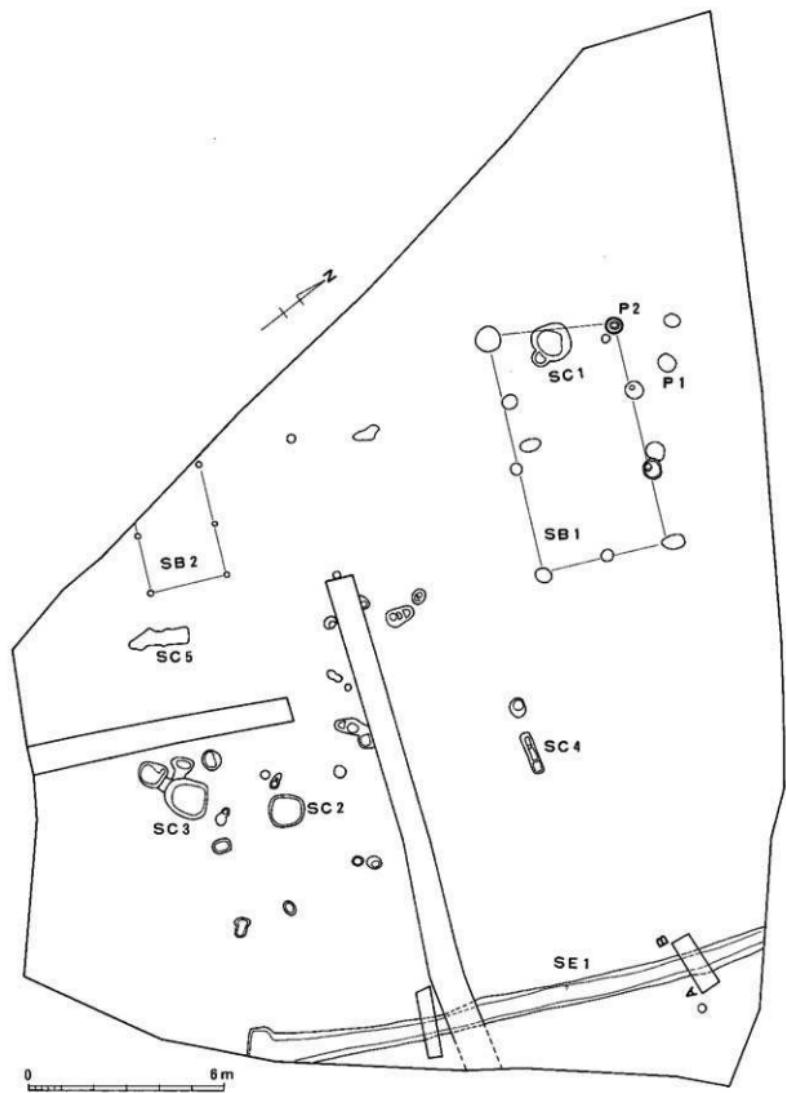
2 調査に至る経緯（第2図）

宮崎土木事務所では、昭和51年から蛇行の激しい石崎川水系の河川改修を行っている。昭和59年9月から1月には、石崎川の支流である新名爪川の河川改修に伴い保木下遺跡の発掘調査を実施している。昭和60年9月に土木事務所から石崎川の河川改修予定地内における文化財の有無についての照会があり、10月に分布調査を実施している。その際、小町遺跡部分では遺物の散布は認められなかったが、地形上、遺跡の可能性があったので、昭和61年3月試掘調査を実施した。調査により、遺構は検出されなかったが、表土下の第Ⅲ層黒褐色で土師器片が出土したので、中世以降の遺跡が所在することが確認された。対象地の土地利用は水田で、開田等の際、相当削平を受けており包含層の残存状況は良くない。

発掘調査は、河川改修により石崎川が横断することになる舌状の張出し部で、包含層が残存する張出し部高所の900m²を調査対象面積として昭和61年7月に実施した。



第2図 発掘調査地



第3図 遺構分布図

3 調査の概要（第3図）

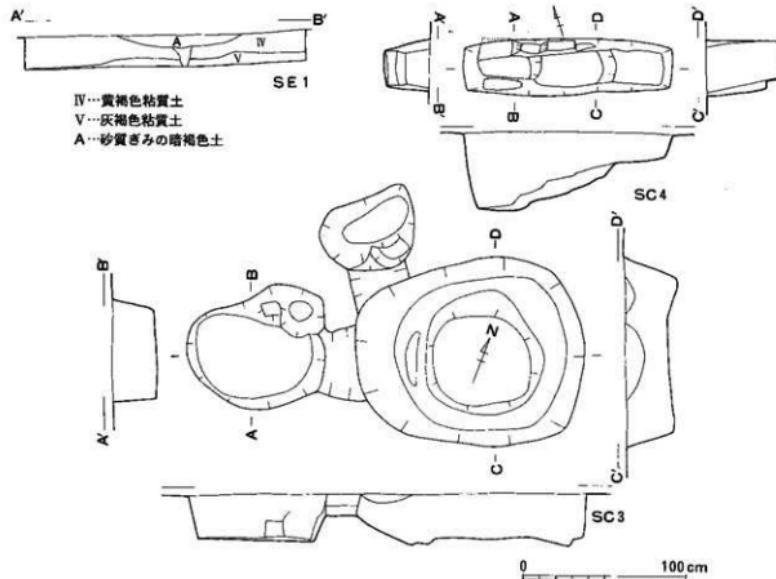
調査地の基本層序は、第I層耕土、第II層褐色粘土、第III層黒褐色粘土、第IV層黄褐色粘質土、第V層灰褐色粘質土、第VI層灰褐色砂質土であるが、開田等の際の削平により、第I層耕土下は第IV層黄褐色粘質土となっているところが多い。

試掘調査で土師器片が出土しているが、調査内での遺物散布は少ない。調査は、第I層を重機で除去後遺構の検出に努め、その結果、掘立柱建物跡（SB）、溝状遺構（SE）、土坑（SC）、ピット（P）等が検出された。遺物は、須恵器壺蓋、土師器、近世の陶磁器等が出土している。

4 遺構・遺物（第4・5図）

遺構（第4図）

掘立柱建物跡：2棟検出されている。SB1は主軸をN-66°-Wにとる。建物は4.02m×7.31mの規模で東梁行2間、西梁行1間、南桁行2間、北桁行3間となっている。柱穴は、南桁行の西端の柱穴径74cm、深さ59cm以外は、柱穴径35cm～52cm、深さ40cm前後である。北桁行の3個の柱穴は2段掘り状となっており、この径は18cm～26cmを測る。これは、柱痕と考えられる。SB2は主軸をN-64°-Wにとる。確認できるのは1間×2間である。1間×2間であった場合の規模は2.42m×3.55mである。柱穴は、南桁行の西端の柱穴径19cm、深さ12cm以外は、

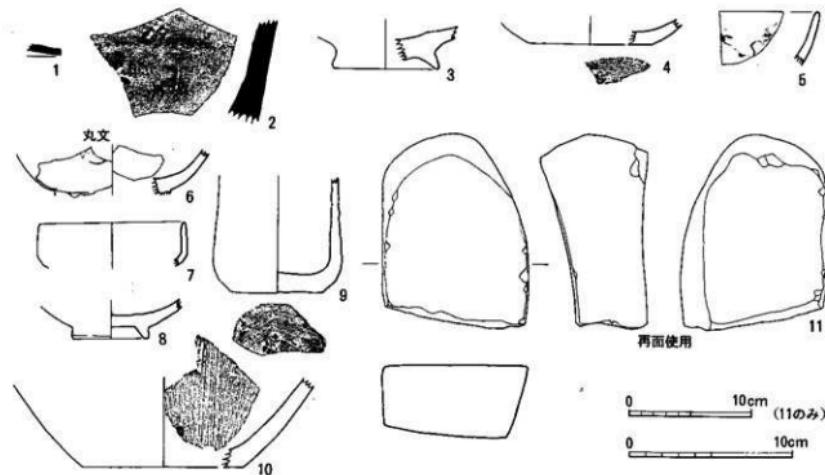


第4図 溝状遺構土層図及び土壤3・4実測図

柱穴径15cm深さ5cm前後である。

溝状遺構：調査区の東端で1条検出されている。溝の形状は、わずかに弧を描くが、ほぼ直線状に南南西方向に伸び、東方向に折れている。溝は北端部で上幅70cm、底幅は30cm、南端部で90cm、底幅は64cmと南に行くほど広くなっている。溝断面はレンズ状に近く、深さ7cm前後で南へ下っており、南北のレベル差は23cmである。

土坑：調査区内で5基検出されている。プランは、円形に近い隅丸方形3基、長方形1基、不成形1基である。隅丸方形3基は長軸が100cm以上の大ピット状であるが、深さはそれ程深くなく、配列に企画性等が認められないで、ここでは土坑として報告する。SC1は、径118cm、深さ46.5cmである。SC2は、長軸108cm、短軸96cm、深さ47cmである。SC3は、隅丸方形で、底面の周囲には幅15cm～25cm、深さ4cm程の浅い溝が巡り、中央部が盛り上がっている。規模については、長軸141cm、短軸116cm、深さ21cm、盛り上がり部について59cm×56cmが計測される。SC3の西及び北20cm程にはピットがあり、幅40cm程の浅い溝で連結している。西のピットからは砥石が出土している。SC4は、長方形プランで主軸をN-72°-Wにとり、規模は128cm×35cmを測る。底面は階段状に下がり、浅い所で17cm、最深部で47cmを測る。SC5は不成形の土坑で深さ2～3cmが計測され、糸切りの土師器が出土している。



第5図 出土遺物実測図

遺物（第5図）

1は、須恵器の坏蓋の小片で口縁端部が欠損している。小田編年の第VII～VI期に相当すると考えられる。2も須恵器であるが、器種は不明の体部下半部である。内面はナデ調整で、外面は格子目タタキの後ナデ調整され、その格子目の一部が残存している。3は、高台付の皿と推定されるもので、高台径6.6cmが復元される。4は、土師器皿で糸切り離しである。底径7.6cmが復元される。5は鳥と梅？の描かれた肥前系の染付碗、6は肥前系丸文碗で外面に二重、内面に一重の輪線が見られる。7はほぼ直立する口縁を持つ碗で内外面とも灰白色を呈し貫入が入る。8は灰白色的碗の底部で疊付露胎で見込みに蛇目剥ぎが見られる。9は褐釉の徳利で底部は糸切りである。10は、備前のすり鉢で全面に一單位10条の櫛描き条痕が見られる。11は磁石で2面とも良く使用されている。その他、P1から錢貨が出土しているが、文字は判読できない。

5 まとめ

調査地内は、開田等により削平を受けており包含層の残存状況は極めて悪く、大半の遺物が耕作土ないしその直下出土であり、攪乱された状況である。出土した遺物は、奈良末から平安、中世の時期のものが少量出土したほかは、大半が近世の時期のものが出土している。検出された遺構は、掘立柱建物跡、溝状遺構、土坑、ピットである。SC5から糸切りの土師器が出土しているが、埋土などから確実にこの遺構に伴っていたとは判断しがたい状態であり、各遺構がどの時期のものかは判別できていない。出土遺物の大半が近世の時期であることから検出遺構は近世の時期である可能性は高い。

今回の調査により小町遺跡は、奈良～平安、中世及び近世の時期であることが確認されたが、調査地が舌状張出し部の東端であり、遺跡の中心は西方に所在するものと推定される。

参考文献

- 「宮崎市遺跡詳細分布調査報告書Ⅱ【リゾート地区中心として】」宮崎市教育委員会 1990
「佐土原町遺跡詳細分布調査報告書」佐土原町文化財調査報告書第5集佐土原町教育委員会
1991.3

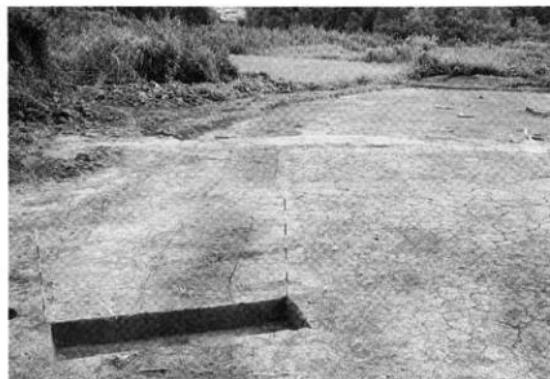




調査区近景
(北西より)



掘立柱建物跡 S B 2
(南東より)



溝状遺構
(北より)



掘立柱建物跡SB 1
の柱穴 (P 2)



土坑SC 3
(南東より)



土坑SC 4
(東より)

付1 平成5年度発掘調査一覧（文化財保護法98条の2による通知）

番号	遺跡名	所在地	発掘日	主体	調査員	面積・時期・遺構・遺物等	備考
1	上ノ原第2遺跡	宮崎市山崎町字上ノ原1114-9	5. 4. 12 ~ 5. 4. 27	県	飯田博之	251m ² 古墳時代（6世紀）；竪穴住居跡2、土師器、須恵器	県道改良 (島ノ内一の宮線)
2			5. 6. 23 ~ 5. 7. 15		戸高眞知子	30m ² 古墳時代；竪穴住居跡2、土師器、須恵器、耳環	
3			5. 11. 9 ~ 5. 11. 26		飯田博之	400m ² 古墳時代；竪穴住居跡2、土壇1、土師器、須恵器	
4	横谷遺跡	延岡市小野町6838-1ほか	5. 4. 14 ~ 5. 4. 24	県	山田洋一郎	300m ² 遺構なし；縄文後期土器、石器、貝殻、獸骨	河川改修 (沖田川)
5	馬場第2遺跡	佐土原町大字下田島	5. 4. 27 ~ 5. 5. 20	県	戸高眞知子	140m ² 著しい削平；土器、陶磁器	県道改良 (宮本新町線)
6	山ノ田第1遺跡	都城市丸谷町字山ノ田	5. 7. 21 ~ 5. 9. 2	県	戸高眞知子	150m ² 弥生時代；ビット群、土器	県道改良 (高城山田線)
7	築池遺跡	都城市下水流町3567	5. 6. 7 ~ 5. 9. 2	県	飯田博之	1800m ² 弥生後期；竪穴住居跡1、土器、石包丁2、中近世；溝状遺構	県道改良 (中方隈庄内線)
8	藏田遺跡	北方町辰字境谷	5. 6. 14 ~ 5. 10. 7	県	山田洋一郎	2,400m ² 旧石器；剥片尖頭器、ナイフ形石器、縄文；土坑、弥生；竪穴住居跡1	北方バイパス
9	学頭遺跡	高岡町大字上倉永字井上685-1	5. 6. 22 ~ 5. 9. 18	県	松林豊樹	200m ² 縄文後期；土坑2、土器石器多數、弥生中後期；土坑1、土器石器多數	県道改良 (野首龍線)
10		高岡町大字下倉永字岩崎713	5. 10. 28 ~ 6. 3. 31			1,100m ² 古墳時代；周溝状遺構1、14~16世紀；溝状遺構4、上坑1ほか	
11	虎崩遺跡	山田町虎崩	5. 8. 17 ~ 5. 10. 19	県	吉本正典	900m ² 縄文後期；埋甕1、土器、石器	国営バイブルайн埋設
12	青木遺跡	田野町梅谷	5. 9. 20 ~ 5. 12. 23	県	戸高眞知子	8,000m ² 縄文早期；燒櫻、土器、石器、古墳～平安時代；遺物包含層	国道改良 (269号)
13	南学原第1遺跡	佐土原町大字西上那珂	5. 10. 20 ~ 5. 12. 27	県	山田洋一郎	800m ² 旧石器時代；集石遺構II、難削、剥片尖頭器、ナイフ形石器	県道改良 (福王寺佐土原線)
14	南町遺跡	門川町大字門川尾末	6. 1. 5 ~ 6. 2. 8	県	飯田博之	1,970m ² 縄文後期；土坑2、土器（鐘崎式、市来式）、石器	一般国道 10号拡幅
15	七野遺跡	田野町七野	6. 1. 11 ~ 6. 2. 7	県	菅付和樹	840m ² 縄文前期；土器、縄文中期；土器、弥生土器ほか	国営バイブルайн埋設
16	西下本庄遺跡	国富町大字本庄5071	6. 1. 13 ~ 6. 3. 31	県	戸高眞知子 山田洋一郎	4,000m ² 縄文後期；包含層、古墳時代；竪穴住居跡、平安～江戸；柱穴群	本庄高校運動場整備
17	渡り口遺跡	都城市丸谷町渡り口	6. ~ 22 6. 3. 31	県	飯田博之	(4,000)m ² 平成6年度に継続	河川改修 (丸谷川)
18	青木遺跡	田野町梅谷	5. 7. 22 ~ 5. 7. 23	県	谷口武範	100m ²	確認（国道269号改良）
19	西下本庄遺跡	国富町大字本庄十日町	5. 8. 26 ~ 5. 8. 27	県	谷口武範	200m ²	確認（本庄高校運動場整備）

番号	遺跡名	所在地	発掘期日	主体	調査員	面積・時期・遺構・遺物等	備考
20	南学原第1遺跡	佐土原町大字西上那珂	5. 9. 20	県	谷口武範	100m ²	確認 (県道改良)
21	神殿遺跡	高千穂町大字二田井	6. 2. 21 ~ 6. 2. 24	県	谷口武範	100m ²	確認 (高千穂バイパス建設)
22	原口遺跡 守原遺跡	西都市大字三宅	5. 7. 12 ~ 5. 8. 25	県	永友良典	800m ²	確認 農村総合整備 パイロット事業
23	外原遺跡	西都市大字三納	5. 12. 7 ~ 5. 8. 16	県	永友良典	20m ²	確認
24	西都原遺跡 ほか	西都市大字二宅	6. 1. 20 ~ 6. 3. 18	県	永友良典	1,500m ²	確認 農村総合整備 パイロット事業
25	高野原遺跡	田野町元野 高野原	5. 7. 26 ~ 5. 8. 25	県	菅付和樹	35m ²	確認 県営農地保全整備
26	片瀬原地区 (下ノ山第1・2遺跡)	佐土原町大字下那珂字下ノ山	5. 8. 11	県	菅付和樹	13m ²	確認 ふるさと農道
27	牛牧原地区 遺跡	高鍋町大字上江	5. 4. 28 ~ 5. 4. 30	県	菅付和樹	10m ²	確認 農村総合整備 パイロット事業
28	牛牧地区 遺跡	高鍋町大字上江	5. 8. 4 ~ 5. 8. 19	県	永友良典	400m ²	確認 農村総合整備 パイロット事業
29	丸谷地区 (上大五郎遺跡)	都城市丸谷町上大五郎	6. 8. 19 ~ 6. 8. 20	県	石川悦雄	30m ² 柱穴、土師器	確認 県営丸谷地区は場整備
30	上ノ原第2・3遺跡	清武町船引 宮崎市細江	5. 8. 31 ~ 5. 9. 4	県	菅付和樹 東	約1,200m ²	確認 県営農地保全整備
31	速日峰地区 遺跡	北方町已早日渡	5. 12. 22 6. 3. 15 ~ 6. 3. 17	県	永友良典 菅付和樹	50m ²	確認 県営は場整備
32	中尾地区 (横原遺跡)	清武町尾平 田野町斧砥	6. 1. 24 ~ 6. 1. 27	県	菅付和樹	80m ²	確認 県営農地保全整備
33	高野原遺跡	田野町元野 高野原	6. 2. 2 ~ 6. 2. 3	県	菅付和樹	20m ²	確認 県営農地保全整備
34	船引地区 遺跡	清武町大字船引	6. 2. 8 ~ 6. 2. 10	県	菅付和樹	40m ²	確認 県営農地保全整備
35	母智丘原第2遺跡	都城市横市町 九州農試畑作利用部内	6. 2. 16 ~ 6. 2. 17	県	石川悦雄	14m ² 古代～中世；土師器片	確認 九州農試研究施設
36	寺崎遺跡 (2次)	西都市大字右松	6. 2. 7 ~ 6. 3. 25	県	永友良典	80m ² 古代；掘立柱建物跡、樹列(櫛)、溝状造構	国衙・郡衙・古寺跡等の範囲確認
37	細井地区 遺跡	高城町大字有水	6. 3. 18 ~ 6. 3. 22	県	吉本正典	25m ²	確認
38	垂水第1遺跡	宮崎市大字瓜生 野字ソヤ・木原 5455-1ほか	5. 5. 12 ~ 5. 7. 19 5. 10. 13 ~ 5. 12. 1	市	日高広人	400m ² 旧石器；ナイフ形石器、角錐状石器、鐵文時代；集石遺構、壘穴状遺構、石礫ほか	市道改良 (久保垂水線)

番号	遺跡名	所在地	発掘期日	主体	調査員	面積・時期・遺構・遺物等	備考
39	上ノ原遺跡 (時屋地区)	宮崎市大字細江字上ノ原5786ほか	5. 6. 14 5. 9. 14	市	重山 郁子	5,800m ² 旧石器；ナイフ形石器、縄文時代草創期；爪形土器、早期；集石遺構	県営農地保全整備
40	車坂 第3遺跡	宮崎市大字加江田字犬マ場478-1	5. 7. 16 5. 10. 13	市	中山 豪	800m ² 縄文時代早期；集石遺構、弥生時代後期；柱穴住居跡1、近世；墓塚	土地区画整理
41	柿木原地下式横穴2号	宮崎市大字大瀬町2125	5. 10. 14 5. 10. 25	市	中山 豊	3m ² 古墳時代後期；地下式横穴墓1、玉類、土師器、須恵器、馬具、鉄器、人骨、鹿貝	農業集落排水事業
42	松添遺跡	宮崎市大字折生追字著方426ほか	5. 10. 12 6. 2. 28	市	中山 日高 広人	3,000m ² 縄文後期；集石遺構、要穴住居跡1、墓穴遺構2、土器、歴史時代；溝状遺構	土地区画整理
43	生口古墳 周辺遺跡	宮崎市大字跡江字井尻ほか	6. 1. 11 6. 2. 28	市	中山 豊	500m ² 縄文時代後期；土器、石器、古墳時代中～後期；溝状遺構、地下式横穴	遺跡範囲確認調査
44	山下 第3遺跡	宮崎市大字加江田字山下	6. 3. 1 ~ 6. 3. 31 (継続)	市	中山 豊	1,500m ² 時期不明；溝状遺構	土地区画整理
45	上ノ原遺跡 (時屋地区)	宮崎市大字細江字上ノ原	5. 5. 25 5. 5. 26	県	菅付 和樹	500m ²	確認 県営農地保全整備
46	高野原遺跡	田野町元野甲13 271ほか	5. 9. 24 ~ 6. 1. 14	町	森田 浩史	10,000m ² 旧石器時代；礫群、縄文時代早期；焼窯、集石遺構、後期；上器片	県営農地保全整備元野地区
47	馬渡 第2遺跡	田野町馬渡甲60 30-1ほか	5. 9. 17	町	森田 浩史	25m ² 遺物等なし	確認 宅地建設
48	元木遺跡	田野町船ヶ山甲 6508ほか	5. 12. 1 ~ 6. 2. 18	町	森田 浩史 的場 文明	8,000m ² 縄文時代早中期；土器等、弥生時代後期；要穴住居跡2、中世；孤立立柱建物63	総合農村整備 モデル事業 元木地区
49	佐上原城跡	佐土原町大字上田島	5. 9. 13 5. 9. 17	町	木村 明史	100m ² 陶器類	確認
50	佐土原城跡	佐土原町大字上田島	6. 2. 2 ~ 6. 3. 30	町	木村 明史	1,200m ² 城館跡(江戸前期～後期)；柱穴、礫石、敷石、土坑、瓦ほか	出土文化財管理 センター建設
51	石塚遺跡	佐土原町大字東上那珂字石塚	5. 9. 4 6. 5. 27	町	木村 明史	10,000m ² 縄文早期；集石、奈良～平安時代；窓跡、布目瓦、須恵器片	工業団地造成
52	仲ノ丸遺跡、 東龜田遺跡	佐土原町大字東上那珂字東龜田	5. 9. 13 5. 9. 17	町	木村 明史	100m ² 弥生土器片・土師器	確認
53	橋山第1遺跡C地区	高岡町大字花見字橋山	5. 5. 8 ~ 5. 5. 28	町	山本 賢一郎	800m ² 縄文早期；集石遺構、押型文、貝殻文土器、環状石斧ほか	民間施設建設
54	喜呂女木跡	高岡町大字小山田	5. 7. 12 ~ 5. 7. 13	町	島田 正浩	遺構なし	確認 町道改良
55	向屋敷遺跡	高岡町大字五町字向屋敷	5. 5. 17 ~ 5. 5. 18	県	菅付 和樹	8m ²	確認 農免農道
56	向原敷遺跡	高岡町大字五町字向原敷	5. 7. 26 ~ 5. 9. 25	町	山本 賢一郎	250m ² 旧石器時代；集石遺構1	農道新設
57	丹度堀遺跡	高岡町大字花見字大原	5. 8. 4 ~ 5. 8. 9	町	島田 正浩	遺構なし	確認 土砂採取

番号	遺跡名	所在地	発掘期日	主体	調査員	面積・時期・遺構・遺物等	備考
58	久木野遺跡	高岡町大字浦之名字久木野	5. 11. 25 ~ 5. 11. 29	町	島田 正浩	集石遺構、古墳時代遺物	確認 農道新設
59	橋上遺跡	高岡町大字浦之名字橋上	5. 5. 19 ~ 5. 5. 20	県	菅付 和樹	15m ²	確認 一般農道
60	橋上遺跡 第 1 区	高岡町大字浦之名字橋上	6. 1. 5 ~ 6. 1. 26	町	島田 正浩	150m ² 縄文時代早期；集石遺構 1	農道新設
61	権現追 第 2 遺跡	国富町大字八代北俣	5. 8. 24 ~ 5. 9. 29	町	新名 祐史	320m ² 繩文土器、弥生土器、陶器	高庄線鉄塔建設
62	池ノ原遺跡	国富町大字八代北俣	5. 11. 17 ~ 5. 12. 21	町	新名 祐史	480m ² 集石遺構、繩文土器、細石刃等	高庄線鉄塔建設
63	柏塚遺跡	国富町大字三名字柏塚	5. 7. 19	県	菅付 和樹	6 m ²	確認 農道拡幅
64	中迫遺跡	綾町大字北俣中迫3065-1	5. 11. 15 ~ 5. 11. 16	町	*菅付 和樹	10m ²	確認 土砂採取
65	臼肥城下町遺跡	日南市板敷字十文字8959-15	5. 4. 12 ~ 5. 5. 31	市	岡本 武憲	400m ² 磁器22点、陶器11点	個人住宅
66	臼肥城跡	日南市大字板敷8181	5. 4. 12 ~ 5. 5. 31	市	岡本 武憲	903m ² 中近世；掘立柱建物跡、陶磁器	臼肥中学校改築
67	影平遺跡	日南市大字平野字影平	6. 2. 10 ~ 6. 2. 11	市	的場 丈明	30m ² 繩文・弥生土器	確認 (県立病院建設予定地)
68	狐塚古墳	日南市大字風田字元弓塙3649-2	5. 6. 1 ~ 6. 3. 31	市	岡本 武憲	225m ² 縄文式石室；水晶製勾玉、切子玉、青銅製鏡・鏡、須恵器、平安；製陶遺構	保存整備のための発掘調査 次年度へ継続調査
69	下新城遺跡	串間市大字西方字下新城	6. 2. 7 ~ 6. 2. 24	市	宮田 浩二	70m ² 縄文時代早期；土器、中世；土坑、土師器、青磁、白磁、鐵貨	土取り・宅地造成
70	柿ヶ迫遺跡	北郷町大字北河内	5. 7. 20 ~ 5. 7. 23	町	時元省二	120m ² 縄文時代前～中期	確認 農道整備
71	柿ヶ迫遺跡	北郷町大字北河内	5. 10. 8 ~ 6. 3. 31	町	時元省二	6,000m ² 縄文時代早期；集石炉 9	農道整備
	昼野上(C地区)遺跡	北郷町大字北河内	5. 10. 8 ~ 6. 3. 31	町	時元省二	300m ² 弥生時代中期；堅穴住居跡 3、土坑 2	農道整備 (M64と同通知)
72	池ノ友遺跡	都城市早水町45-29-2外	5. 7. 15 ~ 5. 9. 31	市	桑畠 光博	2,000m ² 弥生土器、土師器、陶磁器、鐵刀	公園造成
73	池ノ友遺跡	都城市早水町45-29-2ほか	5. 7. 20 ~ 5. 10. 15	市	桑畠 光博	4,000m ² 弥生時代中～後期；堅穴住居跡12、周溝式窓模5、土坑8、中世；掘立柱建物4、平安時代；周溝墓1	公園造成
74	岩立遺跡	都城市五十町44-70-3ほか	5. 5. 13 ~ 5. 5. 21	市	横山 哲英	9,400m ² 弥生時代後期～後期；堅穴住居跡5軒、掘立柱建物3棟、土坑50基、集石遺構90基	確認 造成
75	岩立遺跡	都城市五十町44-70-3ほか	5. 10. 1 ~ 6. 3. 18	市	桑畠 光博	9,400m ² 縄文早期；集落跡30、縄文中期～後期；堅穴住居跡5、土坑50、弥生後期；掘立柱建物3	土砂採取 造成本調査

番号	遺跡名	所在地	発掘期日	主体	調査員	面積・時期・遺構・遺物等	備考
76	月野原第1・2・5、今平第2遺跡	都城市横市町10 160ほか	5. 5. 24 ~ 5. 5. 29	市	横山哲英	弥生土器片、陶磁器	確認 農道建設
77	祝吉御所跡	都城市郡元町 3420	5. 6. 10 ~ 5. 6. 14	市	桑畠光博	90m ² 柱穴外、土師器、陶磁器	確認 整備
78	ニタ元遺跡	都城市志比田町 3741-17ほか	5. 7. 12 ~ 5. 10. 18	市	重永卓爾	4,671m ² 古墳時代後期；堅穴住居跡5、獨立柱建物跡3、古代；堅穴住居跡2、第1、第2の環濠1、中世；陶磁器・大漁2、第1、第2の環濠、石器1	上砂採取
79	上ノ園 第2遺跡	都城市早崎町18 41-1ほか	5. 7. 1 ~ 5. 12. 9	市	横山哲英	10,000m ² 弥生中期；堅穴住居跡1、古墳時代前期；堅穴住居跡4、十六世；獨立柱建物跡3、第1、第2の環濠5、道路状遺跡1、中世；獨立柱建物跡2、環濠跡、石器1	土地区画整理
80	上大五郎遺跡 (丸谷地区)	都城市丸谷町字 上大五郎	5. 11. 23 ~ 6. 2. 16	市	*東 憲章	18,000m ² 弥生後期；堅穴住居跡3、中世；鐵器(斧5)、獨立柱建物跡26、門狀遺跡、土坑5、監跡溝外(獨立柱建物跡5)、ほか	県営は場整理
	前畑遺跡 (丸谷地区)	都城市丸谷町字 前畑	5. 12. 11 ~ 6. 3. 2	市	*東 憲章	4,000m ² 弥生後期-古墳時代；堅穴住居跡26、土坑1、中世；堅穴住居跡4、道路状遺跡2、土坑7、土壙窓1、灰坑2、瓦2	県営は場整備
81	上ノ園 第3遺跡	都城市早崎町 1866-40ほか	5. 12. 13 ~ 5. 12. 17	市	矢部 喜多夫	24m ² 土師器、磁器、古銭	確認 風景整理組合施行
82	金御岳山頂遺跡	都城市梅北町金 御岳公園内	5. 12. 7 ~ 5. 12. 17	市	矢部 喜多夫	27m ² 遺構なし、土師質土器、磁器、錢貨(寛永通宝)	公園整備
83	向原遺跡	都城市立野町 3638-4	5. 12. 24	市	横山哲英	20m ² 弥生土器他	確認 宅地造成
84	天ヶ瀬遺跡	都城市安久町字 天ヶ瀬	5. 12. 21	市	横山哲英	7,215m ² (対象地) 土師器、陶磁器、石器片	確認 宅地造成
85	池之上城跡	都城市都島町91 7-1ほか	6. 1. 25 ~ 6. 3. 30	市	横山哲英	5,500m ² 中世；道路状遺構 (通路跡) 8、軽石組・築石遺構3、土堤跡1、柱跡群	史跡整備
86	安永城跡	都城市庄内町13 245-46	6. 2. 1 ~ 6. 2. 10	市	矢部 喜多夫	25m ²	道路拡幅 (市指定現状変更)
87	三保城跡 (松尾城跡)	山之口町大字花木 字山田1220-12	5. 2. 22 ~ 5. 8. 3	町	*吉本 正典	2,200m ² 中世城跡 (H=18C) ; 古塚2、聚 落跡、箭毒麻、箭頭、鹿角(新定跡)、青状 遺跡1、獨立柱建物跡3、土坑・堅穴跡、廢 治工跡等	公園整備
88	豊広遺跡	高城町大字有水 2892-1	5. 9. 16 ~ 5. 9. 17	町	白谷 健一	20m ² 古墳時代後期；溝	宅地造成
89	上原遺跡 第2地点 (細井地区)	高城町大字有水 字上原	5. 12. 17 ~ 6. 3. 30	町	白谷 健一	6,000m ² 繩文時代後期；堅 穴住居跡1軒、弥生時代後 期；堅穴住居跡1軒	県営特殊 農地保全整備
90	政所第1・ 第2遺跡	高崎町大字東霧 島913-1ほか	5. 5. 17 ~ 5. 5. 27	町	山崎 薫	56m ² 中世；ピット2、土師器	確認 農業開闢施設建設
91	平川地区遺跡	小林市大字南西 方字平川・生駒	5. 6. 10 ~ 5. 7. 12	市	中村 真由美	550m ² ピット、弥生土器片	確認 特産物販売所建設
92	橋谷地区遺跡	小林市大字北西 方字粥飯田	5. 7. 19 ~ 5. 7. 21	市	中村 真由美	298m ² 不明土器片、石器	確認 送電線鉄塔建替
93	杉玉地区遺跡	小林市大字南西 方字杉玉	5. 7. 26 ~ 5. 8. 1	市	中村 真由美	450m ² 遺構、遺物なし	確認 無農薬耕種 墓地設置

番号	遺跡名	所在地	発掘期日	主体	調査員	面積・時期・遺構・遺物等	備考
94	原田上江遺跡群（法光寺遺跡Ⅱ）	えびの市大字上江字法光寺	5. 11. 11 ～ 5. 12. 8	市	*吉本正典 中野和浩	600m ² 平安～鎌倉；石敷道路、竪穴状遺構2、布目瓦	県営ほ場整備
95	田代地区遺跡群（上田代遺跡）	えびの市大字末永字上田代	5. 11. 24 ～ 6. 3. 25	市	*吉本正典 中野和浩	22,000m ² 繩文から後期、竪穴住居跡9、古墳複数、竪穴住居跡2、平安、竪穴住居跡2、ほかに古墳時代、小字の藍立柱建物跡4、柱穴跡、土壙	県営ほ場整備
96	大年谷遺跡（2次）	須木村大字中原字上ノ原	6. 1. 24 ～ 6. 2. 8	市	*松林豊樹	200m ² 繩文早期；集石遺構3、礎群2	総合福祉センター建設
97	松木原遺跡	西都市大字清水字宮川ほか	5. 4. 26 ～ 5. 12. 14	市	蓑方政幾	10,000m ² 繩文時代早晩；集石遺構16、弥生時代、V字溝5（二重溝を含む）、古墳時代跡、竪穴住居跡4	ニューホーリータウン（道路、福祉施設センター）
98	酒元第2遺跡	西都市大字三宅字山上前畑	5. 8. 26 ～ 5. 10. 25	市	蓑方政幾	1,200m ² 繩文時代早期；集石遺構9、古墳時代；竪穴住居跡1	山砂利採取
99	尾能遺跡	西都市大字加勢字森林	5. 10. 20 ～ 5. 10. 28	市	蓑方政幾	500m ² 近代？；溝状遺構1	集落道拡幅
100	西都原地区遺跡	内都市大字三宅字寺原ほか	5. 10. 6 ～ 6. 3. 31	市	蓑方政幾 *東恵章	40,000m ² 繩文時代早晩；集石遺構10、弥生時代末～古墳時代初期；竪穴住居跡3、中世；土塁	県営農村基盤組合 整備ハイロード事業（西都原地区）
	牛牧原遺跡	高鍋町大字上江	5. 4. 1 ～ 5. 5. 20	町	山本格 *永友良典、村井洋輔、長友裕子、東豊章	2,000m ² 古石器時代；集石、弥生時代；竪穴住居跡7	県営ほ場整備 (調査通知は4年度提出)
101	高鍋城跡	高鍋町大字南高鍋字町内	5. 11. 18 ～ 6. 3. 31	町	山本格	400m ² 中近世城跡；礎石建物跡2、礎石列2、溝2、土坑、土器割り	確認 公園整備
102	高鍋城跡	高鍋町大字南高鍋字町内6931-1	6. 3. 3 ～ 6. 3. 31	町	山本格	80m ² 近世；土坑、瓦、陶磁器	確認 公園整備
103	大塚山遺跡	川南町大字川南字大塚山	5. 8. 25 ～ 5. 8. 31	町	島岡武	1,700m ²	町道改良
104	崩牟田遺跡	川南町大字平田字崩牟田	5. 8. 17 ～ 5. 8. 25	町	島岡武	1,800m ²	町道改良
105	明原遺跡	川南町大字川南字明原	5. 8. 30 ～ 5. 9. 10	町	島岡武	1,040m ²	町道改良
106	後牟田遺跡	川南町大字平田字後牟田	5. 9. 2 ～ 5. 9. 20	町	島岡武	80m ²	確認 街路
107	後牟田遺跡	川南町大字平田字後牟田	5. 11. 15 ～ 5. 6. 10 31現在調査中	町	島岡武	3,800m ² 古石器時代；配石遺構、落とし穴状遺構、繩文早期；集石遺構	都府道通路新設、町道住宅用地造成
108	舟川中原遺跡	都農町大字川北字舟川中原	5. 9. 20 ～ 5. 10. 1	町	吉永真也	400m ²	古墳確認
109	今井野遺跡第2地点	延岡市大字天下字今井野	5. 5. 10 ～ 5. 6. 14	市	山田聰 尾方農一	500m ² 繩文・弥生時代；土坑、古墳時代後期；竪穴住居跡1、中世；溝状遺構2	市道改良
110	下三輪町跡	延岡市下三輪町	5. 6. 7 ～ 5. 6. 10	県	東恵章	50m ²	確認 広域農道
111	延岡城跡	延岡市東本小路177-2ほか	5. 7. 13 ～ 5. 11. 19	市	山田聰 尾方農一	1,500m ² 中近世；城跡（二ノ丸跡）、礎石建物跡1、獨立柱建物跡1、排水溝1ほか	公園整備

番号	遺跡名	所在地	発掘期日	主体	調査員	面積・時期・遺構・遺物等	備考
112	八田遺跡 第2地点	延岡市野田町52 55-1ほか	5. 10. 22 ~ 5. 11. 4	市	尾方農一	320m ² 古墳時代・中世；ビット群	宅地造成
113	延岡城内 遺跡	延岡市本小路39 -1	5. 11. 10 ~ 6. 3. 31	市	山田聰 尾方農一	4,500m ² 中世；城跡（塁跡、御城跡）、井戸跡1、遺物基壇跡1、弥生末～古墳時代初期；溝状遺構	図書館建設
114	口知屋城跡	日向市大字口知屋字伊勢道	5. 10. 25 ~ 5. 12. 17	市	諸方博文	120m ² 中世；城跡（第2曲輪）、 ビット群	海浜公園整備
115	富高1号墳	日向市大字富高字古城ヶ鼻	5. 12. 13 ~ 5. 12. 16	市	諸方博文	6m ² 古墳（盗掘坑の埋め戻し）	近隣公園整備
116	寺ノ上遺跡	日向市大字口知屋	6. 1. 17 ~ 6. 1. 28	市	諸方博文	120m ² 細石刃核、スクレイパー	確認 区画整理
117	財光寺南 地区遺跡群	日向市大字財光寺	6. 3. 28 ~ 6. 3. 31	市	諸方博文	120m ² 中近世陶器器、土師器	確認 区画整理
118	矢ノ原 第2遺跡	北方町辰矢の原	5. 7. 12 ~ 5. 11. 30	町	小野信彦	2,000m ² 旧石器時代；ナイフ形石器、 弥生時代後期；彫穴住居跡1、古墳時 代前期；箱式石棺2	農地保全整備
	矢の原 第2遺跡	北方町辰矢の原	6. 3. 14 ~ 6. 3. 31	町	小野信彦	300m ² 古墳時代前期；箱式 石棺5（鉄劍1、鐵鎌若干）	農地改良
119	速日峰遺跡	北方町巳速日峰下	6. 1. 20 ~ 6. 2. 28	町	小野信彦	1,700m ² 縄文時代早期；押 型文土器、弥生時代後期； 堅穴住居跡3、土壤1	県営ほ場整備

付2 平成5年度 県市町村教育委員会発行埋蔵文化財調査報告書一覧

1. 宮崎県教育委員会「野久首遺跡・平原遺跡・妙見遺跡－九州自動車道（人吉～えびの間）建設工事に伴う埋蔵文化財調査報告書第2集－」
2. 宮崎県教育委員会「国衙・郡衙・古寺跡等範囲確認調査概要報告書」
3. 宮崎県教育委員会「谷合第1遺跡・谷合第2遺跡・大塚遺跡－沿海南部地区広域農道建設事業に伴う埋蔵文化財調査報告書（2）」
4. 宮崎県教育委員会「鳩園（東霧島神社）遺跡－東霧島第4砂防ダム建設に伴う埋蔵文化財調査報告書」
5. 宮崎県教育委員会「田向遺跡・平谷遺跡－県道向山・日之影線道路改良事業関係埋蔵文化財報告書」
6. 宮崎県教育委員会「本地原遺跡－都市計画街路事業八幡線道路改良工事に伴う埋蔵文化財報告書」
7. 宮崎県教育委員会「永山原遺跡－霧島南部2期地区広域農道建設工事に伴う発掘調査報告書」
8. 宮崎県教育委員会「中尾・牛牧地区遺跡群・元野地区遺跡群・中尾地区遺跡群・船引地区遺跡群・西都原遺跡群－平成5年度農業基盤事業に伴う発掘調査概要報告」
9. 宮崎県教育委員会「三納地区遺跡群－城ノ下遺跡・柳原遺跡・志戸平遺跡（2次）－鬼付女川基地周辺障害防止対策事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」
10. 宮崎県教育委員会「土器田東1号・東2号横穴墓前庭部・餅田遺跡・高鍋城下遺跡・林ノ王遺跡－宮崎県文化財調査報告書第37集」
11. 宮崎市教育委員会「垂水第1遺跡－市道久保垂水線改良工事に伴う発掘調査報告書」
12. 佐土原町教育委員会「隠山遺跡概要報告書－佐土原町文化財調査報告書第8集」
13. 田野町教育委員会「八重地区遺跡－田野町文化財調査報告書第18集」
14. 田野町教育委員会「高野原遺跡調査概要－田野町文化財調査報告書第19集」
15. 高岡町教育委員会「橋山第1遺跡C地区調査報告書－高岡町埋蔵文化財調査報告書第4集」
16. 高岡町教育委員会「高岡町内遺跡遺跡発掘事前総合調査報告書－高岡町埋蔵文化財調査報告書第5集」
17. 高岡町教育委員会「蕨野遺跡－高岡町埋蔵文化財調査報告書第6集」
18. 日南市教育委員会「飫肥城址－飫肥中学校体育館改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査」
19. 高城町教育委員会「上原遺跡（第2地点）－平成5年度細井地区県営特殊農地保全整備事業に伴う発掘調査概要報告書」
20. 都城市教育委員会「上大五郎遺跡・前畑遺跡－丸谷地区県営ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財調査概要報告書－都城市文化財調査報告書第26集」
21. 都城市教育委員会「上ノ園第2遺跡－早鈴地区区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－都城市文化財調査報告書第27集」
22. 都城市教育委員会「黒土遺跡－都城市文化財調査報告書第28集」

23. 都城市教育委員会「二夕元遺跡－都城市文化財調査報告書第29集」
24. 小林市教育委員会「小林市遺跡詳細分布調査報告書」
25. 北郷町教育委員会「星野上遺跡・柿ヶ迫遺跡－平成5年度埋蔵文化財調査報告書－北郷町文化財調査報告書第4集」
26. えびの市教育委員会「原田・上江遺跡群 法光寺遺跡II－上江・池島地区県営ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概要－えびの市埋蔵文化財調査報告書第13集」
27. えびの市教育委員会「田代地区遺跡群 上田代遺跡－中山間地域農村活性化総合整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概要－えびの市埋蔵文化財発掘調査報告書第14集」
28. 串間市教育委員会「三幸ヶ野遺跡・三幸ヶ野第2遺跡－県営農地保全整備事業三幸ヶ野地区に伴う埋蔵文化財調査報告書－串間市文化財調査報告書第10集」
29. 串間市教育委員会「奈留地区遺跡 猪之棧遺跡・留ヶ宇戸遺跡－県営農地開発事業奈留地区に伴う埋蔵文化財調査報告書（1）－串間市文化財調査報告書第11集」
30. 木城町教育委員会「高城跡－木城町文化財調査報告書第4集」
31. 新富町教育委員会「新田原古墳群－新富町文化財調査報告書第18集」
32. 高崎町教育委員会「町内遺跡試掘調査－高崎町文化財調査報告書第5集」
33. 西都市教育委員会「宝財原遺跡－平成3年度県営農地保全整備事業に伴う埋蔵文化財発掘報告－西都市埋蔵文化財発掘調査報告書第20集」
34. 西都市教育委員会「西都原古墳研究所年報第10号」
35. 門川町教育委員会「門川町遺跡詳細分布調査報告書」
36. 日向市教育委員会「百町原遺跡－県営ほ場整備事業百町原地区工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」
37. 日向市教育委員会「東草場遺跡－若宮近隣公園整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書」
38. 延岡市教育委員会「西階城周辺遺跡（第1次）・八田遺跡第2地点・樅谷遺跡・上池遺跡・延岡城内遺跡E地点－平成5年度市内遺跡発掘調査事業に伴う埋蔵文化財調査報告書－延岡市文化財調査報告書第12集」
39. 延岡市教育委員会「上南方地区遺跡・中尾原遺跡・山口遺跡－延岡市文化財調査報告書第13集」
40. 東郷町教育委員会「広瀬田遺跡－東郷町文化財報告書第3集」

宮崎県文化財調査報告書
第38集

平成7年3月

発行 宮崎県教育委員会

編集 宮崎県教育厅文化課

